

各自、お気に入りの色や形に工夫をこらして自分だけのオリジナルキャンドルができあがりました。

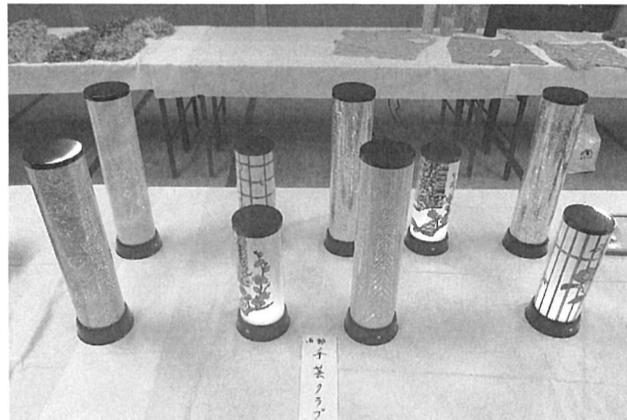
炎のゆらめきは、人間にリラクゼーション効果をもたらす「一／Fゆらぎ」という自然界のリズムを持つているそうです。

自分で作ったキャンドルに炎を灯すのは気分も別格。たまには電気を消して、キャンドルで過ごす時間を作つてみたいと思います。

西部手芸クラブは、最初は村の公民館に三人で行つておりましたが、西部の会所でやるようになり、今は六人で公民館の文化祭には、もう何回も出品して頂いております。

私は高齢ですが、一回りももつと若い人達に、ささえられながら楽しく、時に

頭の体操と 人の和・健康に 西部手芸クラブ



十一月二日に堀越文化祭を実施しました。文化祭は、運動会のない年に行っています。本年も多くの方々が出品をして頂きました。堀越の中にも多くの方が、色々な趣味を楽しんでいます。

手作りカラー
キャンドルを出品

駒沢婦人会

二年に一度の堀越文化祭

五分館だより

第87号
第五分館
編集／社会部
印刷／燐プランニング

堀越の今日
戸数 84戸
人口 309人
(男148 女161(外国人4))
平成26年11月現在

はお茶を飲みながらやつて
おります。一つの作品に苦
労する事もありますが、趣
味を持つと頭の体操になり
人との和もたもち健康で、
長生きする事を目標にして
おります。

公民館の人達が一生懸命
やつてくれておりますので
多くの方の参加を望みます

作品発表に

中宮婦人会 河野美佐子

今年の文化祭に、私たち
は手芸を出品することになりました。
簡単にできて時間のかからない物というこ
とで、ストールを作りました。
手芸が得意な人も、そうでない人も教え会いながら
楽しく作れ、色とりどりのきれいなストールができ
ました。

見に来ていた方に
は、「ステキだ」と褒めて頂
きました。

次回の文化祭には、また
違った物を出品できるとい
うです。



工夫でイメージ

西部婦人会平久子

工夫でイメージの違う作品に
西部婦人会平久子



四



110



賑わつた前半の事業

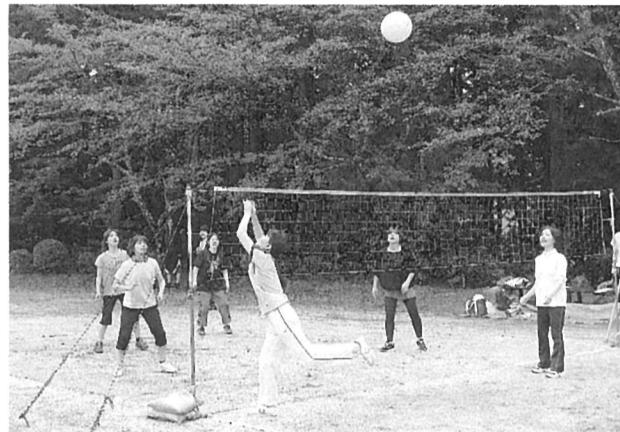
心配された天気も良く、恒例の夏季スポーツ大会、納涼祭を実施しました。多くの区民の皆さんのが参加でどちらの事業も賑やかく行なう事ができました。

ハツスル賞を頂き

充実した一日

駒沢松下鮎美

スホーツは好きなもの得意ではないバレーボールチームの足をひっぱらず、楽しくプレー出来たらいいなという思いで参加しました。当日は、暑くもなくちょうど良い天気で一安心。怪我をしないように、無理をしないようになると、軽い気持ちでコートに入るものの接戦になると、下手くそなりの本気モードでプレーしていました。



恒例の夏季スポーツ大会、多くの区民の皆さんのが参加できました。

チームに貢献して

駒沢 堀本 日出里



二度目の出場にして、初めてのハッスル賞をいただきました。おじさん方と一緒にやつてとても楽しくできました。いい経験になつたと思います。

チームにも貢献できたと思うし、迷惑がかからなかつたので良かつたです。ありがとうございました。

初のハツスル賞

駒沢 堀本 日出里



夏季スポーツ大会が、行
われ、ソフトバレーでハッ
スル賞を頂きありがとうございました。

楽しく交流

西部 西元 まゆみ



今回のスポーツ大会でのソフトバレーの成績は、トロヒィーを手にする事は残念ながらできませんでしたが、交流の場として、とても楽しくリフレッシュできました。

これからも都合のつく限り参加して、ハッスル気分で頑張りたいと思います。ありがとうございました。

今後の事業予定

- 12月13日 運営審議委員会中間監査
2月中旬 ボウリング大会
公民館学習会
3月 1日 美化運動
3月下旬 マレットゴルフ大会
運営審議委員会最終監査

役員になつたばかりの頃は戸惑いも多く右も左もわからないことばかりでした
が、親切な分館の役員の方々に支えていただきなんとか半年活動することができました。まだまだ不慣れなことばかりでご迷惑をおかけすることが多いかと思いますがよろしくお願ひいたします。

晤の和には未だ十分にはない
ことでした。それは、実際に
に自分自身が、計画をたて
準備する側の人間となつた
今、初めて理解できること
でした。

幼かつた頃の私は、球技大会や納涼祭、運動会などの分館行事が毎年あたりまえのように行われることに何の疑問もありませんでした。当然のようにそこに参加し、楽しんでいました。その影、その裏で分館長をはじめとした分館の役員の方々が、計画から準備、後片付け等々を全て担つてくださっていることなど、當時の私は考えも及ばない

今年度よりはじめて分館の役員になり、早半年が過ぎました。最初にお話をいただいたときには、どんな活動をするのか見当もつかず、私に分館の仕事が勤まるのかどうか、とても不安でした。しかし、実際に役員として六ヶ月間活動させていただくながで、役割の重要性とその意味を深く実感しました。

図書部
武田愛理

黑
谷
箕